



かわごえ



民児協だより

[第79号]

令和2年1月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



新河岸川の桜

撮影者：清水 直哉



会長 芝波田 静香

川越市民生委員児童委員協議会連合会

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十二月一日の一斉改選により、新任委員一七七名を含む四七三名が委嘱されました。新しい仲間との出会いに喜びと期待を抱くとともに、再任委員共々、お互いを尊重し、助け合い、活動してまいります。

改めて、適任者をご推薦いただいた自治会長さんをはじめ関係各位のご尽力により感謝申し上げます。

昨年は、大雨や台風による自然災害の多い年でした。災害時要援護者の支援では、地域ぐるみの取り組みが必要とされます。台風一九号の豪雨の中、避難所に行かれない不安な時を過ごす高齢者への近隣の温かい声掛けには、改めて地域のつながりの必要性を認識致しました。また、地域住民の一員としても、平常時の取り組み

みと個々の心構えの大切さを痛感したところです。

今地域では、社会情勢や生活環境が大きく変化しており、介護や障害、生活困窮、育児等に関する福祉課題が複合化、複雑化しております。また、生活上の悩みを誰にも相談できず孤立してしまう方は、外からは見えにくいのが現状です。

このような状況の中、民生委員・児童委員には地域福祉の担い手として、問題に早く気づき必要な支援につなぐ活動が期待されます。それには、先ず委員活動をご理解いただき、人々の声に耳を傾けることが支援活動の第一歩であり、地域の方々との信頼関係の構築につなごうとまいります。

本年も関係機関等との連携・協力のもと、皆様と共に地域に根ざした活動に努めてまいります。結びに、皆さまのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

新年を迎えてのあいさつ



社会福祉法人川越市社会福祉協議会
理事長 関根水絵



明けましておめでとうございませう。

民生委員・児童委員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から川越市社会福祉協議会に対しまして、あたたかいご支援とご協力をいただいておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。

今日私たちは、今までに経験したことのない超少子高齢社会を迎えようとしています。すでに本市の総世帯数に占める高齢者がいる世帯の割合は、四割を超え、高齢者一人世帯の割合も年々増加しています。

また、経済的格差などの拡大も相まって、社会的孤立、生活困窮、介護や子育てに対する不安など福祉課題も多様化しております。

このように、様々な多くの福祉課題が山積するなか、

この度の改選により、ご就任されました民生委員・児童委員の皆様には、地域福祉の担い手として、また、地域住民の身近な相談者、支援者として活躍いただき

ますようお願いいたします。川越市社会福祉協議会といたしましても、地域福祉の中核的役割を担う団体として、民生委員児童委員協議会連合会をはじめ、各種の関係団体・機関等と連携を図り、地域に根ざした福祉の充実に向け、より一層取り組んでまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域福祉の推進に今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、民生委員・児童委員の皆様のご活躍とともに、貴会のますますの発展をお祈り申し上げます。

ごあいさつといたします。

地域の活動紹介

第九地区

松本 道子

第九地区は川越駅西口の脇田本町、旭町一・二・三丁目、脇田新町、広栄町の六自治会です。委員数は主任児童委員二名を含む十七名です。各集会所で自主的にいもっこ体操を実施して介護予防に努めています。

おしゃべりサロンは一人ぐらし高齢者を対象に年二回開催していますが、今後は対象者を広げ、回数を増やす方向になりそうです。第九地区社協の世代間交流としては、自治会毎に納涼盆踊り大会と川越まつり



があります。

旭町三丁目は山車を保有し、毎年盛大に参加しています。旭町一・二丁目、脇田新町、広栄町は隔年で神輿を繰り出し互いに会所を訪問してもみ会いを行います。今年はずつりに代わり、芋掘りが行われ、さわやかな秋空の下、幼児・小学生を含む約百名が参加、大きな芋を掘り当て喜ぶ人が続々。楽しい時間でした。

また、一人ぐらし高齢者の集いが毎年秋に催されます。ハーモニカやバイオリンの演奏を楽しんだ後、童謡など合唱し、温かいうどんを食べた。今年はお茶巾の残暑の時期だったので茶巾の食事に変更、大変好評でした。

これからも関係機関と協力して元気に活動して参ります。



芳野地区

矢澤 千春

みんなの憩いもっこ体操 芳野地区は川越市の北東に位置し、緑豊かな田園地帯で、十三自治会から構成されています。

この地区でも、核家族化に伴い、高齢者の増加が見受けられます。

川越市地域包括支援センターよしのさんの支援を頂き、平成二十六年から今までに「いもっこ体操」の自主グループが七自治会（北田島・谷中・鴨田第二・石田本郷・伊佐沼・鴨田第一・鹿飼）に誕生し、活動を開始しています。

今回は、最初に活動を開始した北田島いもっこ体操クラブを紹介いたします。

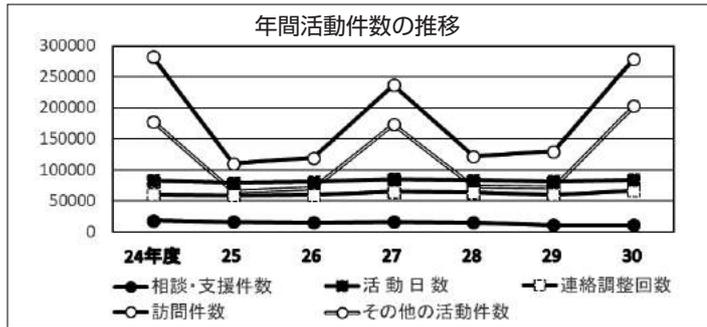


月一回、開始時間までお互いの近況報告で、会話の花を咲かせています。

年間計画は参加者で意見を出し合い、出前講座利用の講話・体力測定・脳トレ・手遊び・会食会等を計画し実践しています。

今年も日頃の活動の発表の場として、自治会の盆踊り・芳野地区公民館まつり・自主体操サークル発表会にと参加の機会を頂きました。これからも、多くの人に「北田島いもっこ体操クラブは元気だね」をアピールしていきます。

いつまでも元気に健康でいられるのは、誰もの願い、その実現のために、「参加して楽しかった」と笑顔の溢れる場づくりの継続に努めて参ります。



H30.4.1～H31.3.31現在
民生委員・児童委員 486人

		合計件数	比率	1人当たり 件数/月
相談・支援件数	(内容別)			
	在宅福祉	735	6.7%	0.13
	介護保険	392	3.6%	0.07
	健康・保健医療	1,376	12.6%	0.24
	子育て・母子保健	246	2.3%	0.04
	子どもの地域生活	327	3.0%	0.06
	子どもの教育・学校生活	465	4.3%	0.08
	生活費	204	1.9%	0.03
	年金・保険	36	0.3%	0.01
	仕事	47	0.4%	0.01
	家族関係	424	3.9%	0.07
	住居	272	2.5%	0.05
	生活環境	329	3.0%	0.06
	日常的な支援	3,238	29.7%	0.56
	その他	2,801	25.7%	0.48
計	10,892	100.0%	1.87	
(分野別)	高齢者に関すること	7,190	66.0%	1.23
	障害者に関すること	733	6.7%	0.13
	子どもに関すること	1,308	12.0%	0.22
	その他	1,661	15.2%	0.28
	計	10,892	100.0%	1.87
その他の活動件数	調査・実態把握	139,150	68.43%	23.86
	行事・事業・会議への参加・協力	17,435	8.57%	2.99
	地域福祉活動・自主活動	28,002	13.77%	4.80
	民児協運営・研修	18,212	8.96%	3.12
	証明事務	508	0.25%	0.09
	要保護児童の発見の通告・仲介	30	0.01%	0.01
	計	203,337	100.0%	34.87
訪問件数	訪問・連絡活動	78,676		13.49
	その他	200,367		34.36
	計	279,043		47.85
連絡調整回数	委員相互	39,949		6.85
	その他の関係機関	26,973		4.63
	計	66,922		11.47
活動日数		83,950		14.39

平成三十年度の「活動記録」報告より

平成二十九年度は「相談・支援件数」の変化に着目検討しましたが、平成三十年度は前年度と比較しやや減少傾向は見られるものの大きな変化はありません。前年と比較し大きく変化したのは、「その他の活動件数」と「訪問件数」です。これは平成三十年度が居住者カード更新の年度であった

たことに起因します。

平成二十四年度からの「年間活動件数の推移」をグラフに示します。

居住者カード更新の年度は、平成三十年度と同様に「その他の活動件数」と「訪問回数」に大きな変化が見られ、類似のグラフとなることです。また、「連絡調整回数」と「活動日

数」は各年度大きな変化はなく同レベルで推移しております。少し疑問な点は「その他の活動件数」と「訪問回数」が増減しているにも関わらず、活動日数は変化しないことです。

これは民生委員・児童委員がそれぞれ担当する地区の自治会等からの協力が得られて、調査がスムーズに実施されたことを示しているのだと思います。しかし近年は自治会に入会しない方も少なくないと言われて

川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の各号をクリック

川越市社協 検索

おり、民生委員・児童委員としては、担当する地域に居住し自治会に所属しない方の情報を継続的に収集することも大切になると思われます。

生きがい訪問

● 第六地区 ●

佐藤たか子さん



平成六年に東京から川越に転居したばかりの頃は知り合いも無く家に閉じこもりがちでした。引きこもりにならないように、カルチャーセンターで習い事等をしてみましたが、どれもあまり長続きしませんでした。

そんなある日マンシヨンの掲示板で高齢者コミュニティの存在を知り、四年前から毎月一回「はつらつ健康クラブ」と「おしゃべりサロン」に参加するようになりました。参加者は皆いい人達ばかりで、すぐに打ち解けて友達がたくさんできました。皆さんには、地域のことを教えてもらった、足が痛いときに助けて



もらったりしています。皆様ともありがたい存在です。

「はつらつ健康クラブ」ではいもっこ体操をしたり、懐かしい歌を歌ったりします。中でも、テーブルを囲んで軽快な歌のリズムに乗せてお手玉を隣の人に回すゲーム感覚の脳トレが大人気です。最後にお茶を飲みながら和気あいあいとおしゃべりを楽します。私

はこのクラブの受付係をさせていただいております。「おしゃべりサロン」ではおしゃべりを楽しむのはもちろん、色々な折り紙の折り方を教えていただくのも楽しみです。みんなで作った折り紙を模造紙に貼り大きな作品に仕上げ、地域のふれあいサロンに出

展しました。他にもチラシで折るゴミ箱がとても便利で、たくさん作り置きして毎日活用しています。指先の運動が良いボケ防止になつて、一石二鳥です。また、サロン終了後に誘い合つてランチに行くのも楽しみです。

年齢を重ねると、出かける機会がだんだん少なくなるものですが、こうして気の合う仲間達と一緒に楽しい時間を過ごせる場所があるのは、とても嬉しいことです。

これからも、積極的に参加していかうと思つています。

● 南古谷地区 ●

天野隆司さん



働いていた頃は朝六時には家を出て、帰りは十時一時は当たり前という生活でした。定年を過ぎて退職したとき、隣り近所の方の

顔も知らない有様でした。誘われて老人会へ入り、グラウンドゴルフを始め、地域への恩返しのためにも自治会の活動にも参加するようになった。人の輪も広がりました。木野目では環境推進委員、介護予防の「はつらつ体操」寿老会、自主防災などに協力しております。



点訳しているところ

グラウンドゴルフは経験すれば面白く、軽い運動と気分転換に最高です。正に高齢者向けの生涯スポーツといえるでしょう。クラブ代表として、地区の大会を楽しみ手伝ううちに、川越市G G協会、埼玉県G G協会の役員にもなり、人の輪も益々広がりました。悩みは、老人会もグラウ

ンドゴルフも会員の高齢化により活動できる人が少なくなっていることです。各種行事も、いつも同じ顔ぶれで四苦八苦しています。自分の視力に不安があることもあり、退職後、点字に興味を持ち、点字の会に入り、小学校への点字教育訪問、書籍の点訳等永く続けております。

当市には東邦音大、尚美学園大学等の芸術関連の大学もありコンサートも楽しみます。自分でも何か楽器を習ってみたいと思いが、まだまだ果たしていません。楽しみといえばこれからのシーズンは、スキーです。自己流ながら冬の楽しみです。雪の便りが待ち遠しいです。

高齢(百二歳)の母との老々介護の生活ですが、日々の生活を忙しく過ごしながらも、なんとかやっていけるのは、デイサービスなど利用しながら、地域の皆様に助けられたことだと思えます。恩返しなどおこがましいことでした。感謝しつつも挑戦の毎日です。

地区民児協だより

第三地区

横山 恵美子

第三地区は、本庁管内の西南に位置し、十の自治会から成り、民児協は、二十三名（内二名は主任児童委員）で構成されています。

定例会は、毎月第二水曜日に行われ、信条唱和、事業、部会の報告、事例発表とその対応について協議し情報を交換、共有する事によって委員同志の連携を密にするようにしています。

地区社協との共同事業としては「第三社協だより」作りの協力、福祉懇談会、



野田一カフェ



一人暮らし高齢者の集い、世代間交流などがあり、ほとんどの町内で「いもっこ体操」が委員が中心となり実施されています。民児協として福祉施設等の視察研修なども行っています。

野田町一丁目では、地区として初めて「野田一カフェ」が開設されました。これは、二人の民生・児童委員が主催者となって立ち上げたもので、高齢者の方が生活に「生きがい」や「楽しみ」を見いだせるようにとの思いから作品作りや歌おしゃべりなど思い思いの時間をすごしていただいています。

高齢化が進む中、地域によって課題の違いがあるものの、すべての人たちが安心して生活できるように、委

員同志が協力し、活動し続けていきたいと思えます。

川鶴地区

星野 幸子

川越市の最西端に位置する人口六千余の川鶴地区は、この地に住む人達が永年にわたって互いに住みよい街にするために、様々な事業に取り組んでおり、その一端を紹介いたします。高齢者会食会は、毎回趣向を凝らした献立と食後の余興等で出席者が年々増え続け、今では毎回百名超えの方々が参加され会場は溢れんばかりの賑やかさです。特に一人暮らし高齢者配食の際は、声かけとともに地域の各種イベントの参加を促して、

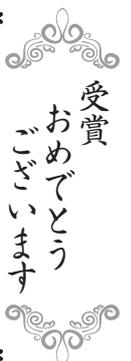


高齡者会食会「きさらぎ会」

孤立しない様に常に心掛けております。また、一人暮らしの集いでは、ケーキ付のお茶やコーヒーを飲みながら会話がなされる楽しいときを過ごしておられ、皆さんから「地域の人が集まる場はとても温かいです。もっと回数を増やして」との要望も寄せられています。ここに子育て教室は、子どもたちの笑顔とともにママ友の輪の広がりが目に見えるようです。その中で子育てのヒントになるような要素も多くあるものと思われれます。世代間交流事業として小学生対象の料理教室と中学生対象の豚汁講習も即日定員に達するほど好評です。この様にして世代を超えて事業を行うことは地域の将来にとって極めて重要な事と考えます。



世代間交流事業「りょうり教室」手作りピザに挑戦



【全国社会福祉大会】

厚生労働大臣表彰

(第9) 松本 道子

(福原) 宗像ヤイ子

【埼玉県民生委員・児童委員協議会会長表彰】

埼玉県民生委員・児童委員協議会会長表彰

優良民生委員・児童委員協議会表彰

川越市第9地区民生委員児童委員協議会

埼玉県知事功労章

(第1) 松本富三 (第2) 神山 初江

(第5) 谷内 正代 (第11) 貫井 壽子

(第9) 芳野松岡三千代 (高階) 小淵 考子

(天東) 山内 早苗

【埼玉県社会福祉大会】

埼玉県知事表彰

(第8) 菊田 洋子 (南宮) 江尻 旬子

(高階) 長谷川八重子 (福原) 沖田 一枝

(天東) 伸 のり子 (豊岡) 大野 明子

(豊岡) 中島真利子

埼玉県社会福祉大会会長表彰

(第1) 田島 晶子 (第2) 小川 道子

(第2) 急式 悦子 (第3) 横山恵美子

(第3) 諸星すみ江 (第7) 平本 和子

(第10) 市川 操子 (高階) 廣井ミチ子

(高階) 山下せい子 (高階) 瀬倉あさ子

(高階) 高栖 敦子 (高階) 矢島 祥子

(天東) 三村 清子 (天東) 石津 和子

(天東) 柳川 誠至 (天東) 渡邊 成子

(天東) 本領美智子 (豊岡) 宮坂 厚郎

(豊岡) 鶴見由利子 (名細) 深川 達也

(名細) 堀江 房枝 (川鶴) 大嶋 孝子

(川鶴) 星野 幸子 (川鶴) 藤田 昌代

焼津方面視察研修に
参加して

市民児連副会長

田中 敏枝

正副会長研修が、十月七日、八日に行われました。この夏の暑さを忘れさせるような朝の気温の中、総勢四十三名で出発致しました。バスの中では隣同士で広範囲の情報交換の場になり終始なごやかな中、活発に話をしながら、一路静岡に向かって順調に進んで参りました。



途中世界遺産である三保の松原に立ち寄り、富士の絶景を期待し見上げました。台風19号の影響か山の頂は雲に覆われ、美しい姿は見られませんでした。しかし、美しい松林は自然を生かしたまま、日本が誇る観光地に磨きがかかっていました。

いよいよ、今回の視察の大きな目的である焼津消防防災センターに到着しました。こちらには、東日本大震災のマグニチュード9、震度7を実際に体験できる施設があり、手すりもしっかり持っていて体を支えているのが大変でした。急にその場面に遭遇したら立っている事さえ出来ないことを体感し、更に3Dの眼鏡を掛けて風水害の様子を見ることが出来ました。目の前でマンホールの蓋が浮き上がり、汚水が吹き出したり、道路が濁流に覆われている姿を見た時、どのような行動をとるだろうか等と、現実と照らし合わせてみました。この事で、まず自分自身落ちつき、状況

を判断し、行動に移すことが大切だと実感しました。

この研修により自分の担当地区を把握し、自分の命は自分で守り、地域の方々を支えてあげられるよう、心の準備が必要であることを強く思いました。

二日目は山梨県立富士山世界遺産センターを見学し、富士山の信仰や歴史、自然等を学びました。

最後にホテルの部屋での会話は、重要な時間であり充実した二日間でした。

主な市民児連活動予定

- 一月十六日 地区民児協正副会長及び部会長新年懇親会
- 二月三日 理事会
- 三月二日 理事会
- 三月中旬 役員及び部会長等合同会議
- 四月六日 理事会
- 四月中旬 監査会、部会報告会
- 五月十七日 第30回ふれあい福祉まつり

災害ボランティアに
参加して

福原地区

齋藤 博和

台風19号で越辺川の堤防が決壊し大きくめぐり取られ、私の走り慣れたマラソンコース一帯は、湖のような光景でした。決壊場所の近くでは排水作業が行われ、被災された方々やボランティアの方々が、後片付けに黙々と作業していました。翌々日、活動に必要な資材を持ってボランティア活動に参加。川にはコンテナが横たわり、被災した施設の前には家財道具や家電が山のように積まれてありました。作業内容は土砂やガレキの撤去、家財道具の搬出、浸水で汚れた施設内の壁や床、窓拭きの清掃等です。災害現場では重機は使えず、後片付けには多くの人手が必要とされています。被災された方々や各施設が一日も早く、平常な生活に戻るよう心から願います。

時の鐘

最近少しゴルフが上手くなった。八年前に軽い脳梗塞を発症し、後遺症で目眩の症状が残った。どこの病院でも診察後は「どこも問題ない。」と言われた。永い間同じ医者と付き合っていると「血圧も関係しているかも知れない。」と薬を色々調合してくれた。血圧は一三〇前後で順調である。目眩と仲良く付き合いなから、民児連広報部会活動と好きなゴルフも続けていける。こんな幸せ気分を感じられる今日この頃である。十二月に民生委員も新旧の引き継ぎがあります。現委員の方はお疲れ様でした。新委員の方はよろしくお願ひします。

今号の編集担当は、浅見葉子・岩崎恵子・長田汎美・黒岩幸江・済藤勇・鈴木順子・山崎雅晴でした。

